

左翼は朝鮮人。それなら、右翼って誰なんだ？

<http://yohkan.iza.ne.jp/blog/entry/2455018>

昨日のブログに、日本の左翼は朝鮮人だと書いた。左翼の民主党が主張する政策はすべて朝鮮人優遇策だし、外交面でもひたすら半島に媚びるだけだ。左翼＝朝鮮人は極端な言い方だけど、そんなに外れちゃいないだろう。おいおい、俺はマルクス主義だが日本国籍だぞ、と云うひと達もいるとは思いますが、そのあたりは端折る。わが国で左傾してるひとは、どうせ朝鮮シンパと相場が決まっている。

で、その左翼に対立する右翼は、日の丸・君が代を愛するわれわれ生粋の日本人だとも書いた。右が日本人、左が朝鮮人。こうすると対立軸が分かり易い。モノゴトは単純に考えたほうがいい。

ところが読者の方から、反日過激右翼のせいだ「右翼」には悪いイメージがある、とのご指摘を頂いた。呼び方は大切なので「保守中道」などの言葉で「右翼」と区別したほうがいいとの貴重なご意見だ。なるほどなと思った。こちらは海外暮らしが長いので、すっかりボケてしまったけど、確かに日本国内で「右翼」と云えば誤解を招くのかも知れない。英語の right wing とは印象がまったく違うようだ。

なにしろ真っ先に思い浮かぶのが街宣右翼だ。耳をつんざくような大音量で軍歌を流し、粗悪なスピーカーなのでよく聞き取れないが、明らかに支離滅裂な演説をぶつ。見かけも超ハードな男たちが多くて、坊主頭に黒眼鏡、特攻服に鉢巻きなんかで、一般市民に異様な威圧感を与える。場合によると銃器や刀を振り回して傷害事件を起したり、何だかヤクザもんと区別がつかない。実際、暴力団との境目がわかりにくい。

こういう連中が右翼を名乗り、長年に亘り日章旗や旭日旗のイメージを酷く貶めてきた。かつては多くの大人たちが楽しく唱っていた軍歌を一種のタブーにしてしまった。国防や愛国心と云った当たり前の言葉にすら、危険な匂いを与えてしまった。冷静に考えると、本来の意味で右翼たる保守派を社会的に封じ込めるため、右翼＝暴力のレッテル張りを企てたとしか思えない。

それなら、あの街宣右翼って何者なのか。建前は国粋主義をうたっているが、竹島とか拉致問題とか、南北朝鮮の利害が絡む話には何も抗議

しないと聞く。街宣車に韓日友好なんて書く団体もあるとか。街宣右翼の構成員はほとんどが朝鮮人なんだと云う説まである。もしかしたら裏で左翼と繋がっている可能性も否定できない。

読者の方にご指摘頂いたとおり、日本を愛し国を守りたいと考え、フジの偏向報道に怒るわれわれは、穏健な「保守中道」にあたるだろう。これまで「右翼」と呼ばれてきた勢力とは全然違う存在だ。

でも、あえて自分達を「右翼」と読んで、従来の「右翼」のイメージを

ぶっ壊したい気持ちもある。怖くない右翼、ふつうの右翼、友だちになり易い右翼。泣き虫右翼、可愛い右翼、お茶目な右翼なんかがいい。

やっぱり人間、右翼と云われなきゃ一人前じゃねえ、とか。あたしの彼ってステキな右翼なのよ、とか。普通の会話に「右翼」って言葉がばんばん出て来るようになったときこそ、保守派の復権を実感できるに違いない。

